

ディプロマ・ポリシー (DP)

心理学科では、本学の課程をおさめ、所定の単位修得等の条件を充たした上で、健大精神である「自利利他」の精神に則った教養と心理に関する専門知識・技能を修得し、次のような能力・資質を備えた人物に学位を授与する。

1. 豊かな人間性と幅広い教養

心理専門職のみならず社会の一員として求められる、豊かな人間性、幅広い教養を身につけている。

2. 心理学の専門的知識

心理学の基本的な考え方と、心の仕組み（認知心理学）、心の生涯発達（発達心理学）、心と環境の相互作用（社会心理学）に関する基礎知識と、それに基づいた自己理解や他者理解の方法を身につけている。

3. 心理学の専門的知識に基づく問題発見力・問題解決力

心の働きと心理学の研究手法、心理支援の技法を理解した上で、科学的視点ならびに心理臨床的視点の両方に基づいた問題解決方法を検討する力を身につけている。

4. 心理学の専門的知識に基づく実践力

心理学の知見に基づくコミュニケーション・スキルを活用して、多様な文化や価値観を有する他者を尊重しながら協働する力を身につけている。

5. 心理学の専門性を活かした社会貢献力

心理学の学びを踏まえて、自ら主体的に行動し、他者が主体的に行動することを心理的に支援するための方法について、常に考え実践する態度を身につけている。

カリキュラム・ポリシー (CP)

心理学科の「教育理念・目的」、「卒業認定・学位授与の方針」に明示した資質・能力が獲得できるよう、共通教養科目（教養基礎科目・人間理解科目・リテラシー科目）、専門教養科目及び専門科目（専門基幹科目・専門展開科目）から構成される、以下の体系的かつ系統的な教育課程を編成する。

1. 豊かで幅広い教養と感性を養い、深く人間を理解することのできる能力と国際性を培うこと、そして健大精神「自利利他」の精神を涵養するため、教養教育として「共通教養科目」を設置する。
2. 心理学の基本的な考え方と基礎知識を身につけるために、「専門教養科目」と「専門基幹科目」を設置する。
3. 科学的視点ならびに心理臨床的視点の両方に基づいた問題解決方法を検討できる力を身につけ向上させるために、「実験」、「実習」、「演習」、「卒業研究」を「専門基幹科目」群と「専門展開科目」群に設置する。
4. 心理支援のための支援技法と、その際に求められるコミュニケーション・スキルを身につけるために、「専門基幹科目」群と「専門展開科目」群において、それらの技法・技術の「実習」、「演習」を設置する。
5. “生きる”を心理支援する実践力を向上させるために、「専門教養科目」群と「専門展開科目」群において、キャリア教育科目を設置する。

アドミッション・ポリシー (AP)

心理学科では、健大精神「自利利他」ならびに建学の理念「人類の健康と福祉に貢献する」に基づき、「あらゆる生涯発達段階にある人々の“生きる”を支える人材の育成」を教育理念として、体系的に心理学を学ぶことによって人々の個性や多様性の理解を深め、さまざまな心理社会的課題を抱える個人やそのような人々を抱える地域に、メンタルヘルスの支援を中心として貢献できる人材の養成を目指している。

そのために、次に掲げる資質・素養を備えた人を求める。

1. 心理学の専門的知識を活かして「人類の健康と福祉に貢献する」ことに強い関心を持っている。
2. 心理学の専門知識を学修するための高校レベルの基礎学力を備えている。
3. 心理学の専門的知識を活かして「人類の健康と福祉に貢献する」ことを実現するための力を、生涯にわたって主体的に研鑽したいという意欲がある。
4. 修得した基礎的な知識・技能を活用しながら他者と協働して学ぶ態度を身につけている。